

事業拡大に繋がる自社の標準プロセスを構築したい

昨今、複数の顧客からプロセス改善の要求を受け始めている。組織として、標準プロセスの構築やAutomotive SPICEのレベル達成に取り組む必要があるが、今後のことも考慮し、その場しのぎの対応ではなく、組織内の改善活動を推進する部隊を組織化し、継続的改善を行える文化を醸成し、事業拡大に繋げたい。



Business Cube & Partners

Automotive SPICEと、現状の開発状況とのギャップを見つける

Automotive SPICEのトレーニングを開催し、SEPGを育成する

標準プロセスの構造とプロセス文書を整備する

◆ 概要

- OEM からの要求に基づく Automotive SPICE 能力レベルの達成などを、改善計画の立案からパイロットプロジェクトへの導入サポートまでを、アジア地域における最も豊富な経験を保有している弊社のプロフェッショナルが、国内外においてワンストップでご支援しています。

◆ ギャップ分析の特徴

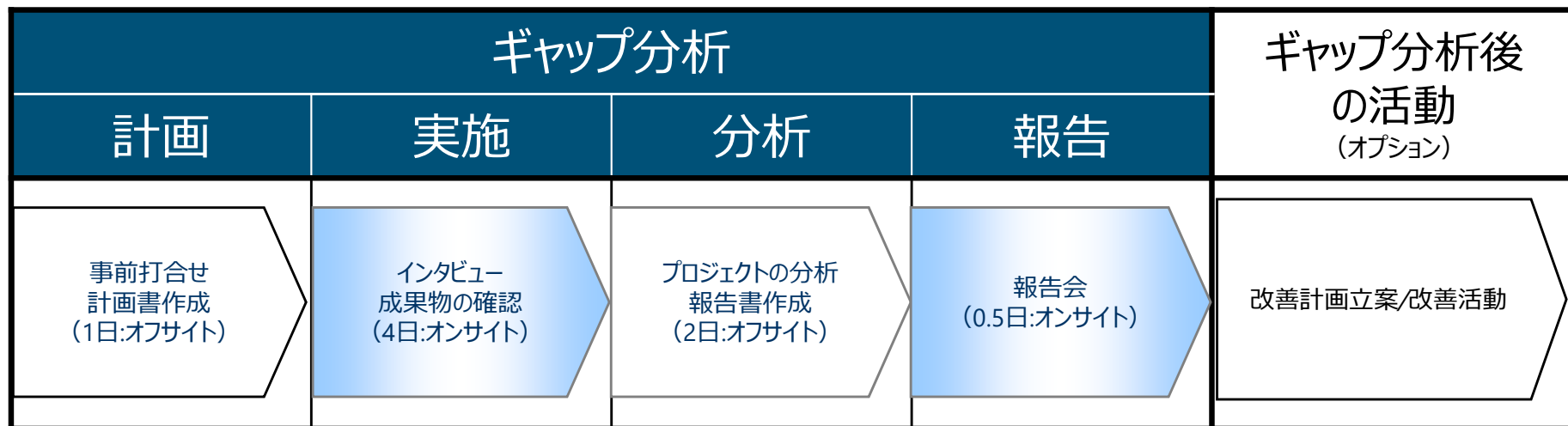
- OEM（特に海外OEM）の要求であるAutomotive SPICEプロセスに基づき、ギャップ分析を行います。
- 主にインタビュー形式で現状の開発状況の聞き取りを行い、プロジェクトの実際の作業成果物の内容を確認することで、開発プロセスの診断をします。
- ギャップ分析の対象プロセス等については要望に応じ、柔軟に対応します。

◆ ギャップ分析実施時の流れ

ギャップ分析	計画	事前打合せ 計画書作成	<ul style="list-style-type: none"> □ ギャップ分析の計画 <ul style="list-style-type: none"> ■ 組織特性を整理し、分析対象プロジェクトを選定 ■ ギャップ分析の活動計画を立案
	実施	インタビュー 成果物の確認	<ul style="list-style-type: none"> □ 情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ■ インタビューによる状況確認 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトオーナー、プロジェクトリーダー、開発プロジェクトメンバー □ プロジェクトの成果物による状況確認
	分析	プロジェクトの分析 報告書作成	<ul style="list-style-type: none"> □ プロセスの分析 <ul style="list-style-type: none"> ■ 収集した情報の分析 ■ Automotive SPICEプロセスとのギャップ診断 ■ 報告書作成
	報告	報告会	<ul style="list-style-type: none"> □ 報告会 <ul style="list-style-type: none"> ■ 分析結果の報告 ■ 関係者との分析内容の共有 ■ 改善活動の動機付け
ギャップ分析後の活動 (オプション)		改善計画立案 /改善活動	<ul style="list-style-type: none"> □ 改善計画の立案 <ul style="list-style-type: none"> ■ 分析結果に基づく、改善施策の検討 ■ 改善活動の体制、タスク、スケジュール等の立案と合意 (改善活動へ)

標準的なスケジュール

- 対象プロセス：16プロセス（VDAが推奨するプロセス）
- 対象レベル：能力レベル1



*VDA：ドイツ自動車工業会



Business Cube & Partners

お問合せは下記までお気軽にご連絡ください。

ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社

コンサルティング事業部

consulting@biz3.co.jp

<http://biz3.co.jp>